

平成21年1月9日

参事官(中小企業新事業担当) 村重 孝広

TEL (082) 224-5658

「新連携計画」認定

～新たに2件を認定～

当局は、「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」（平成17年4月施行）に基づき、中小企業者から申請のあった以下の異分野連携新事業分野開拓計画（以下、「新連携計画」という。）について、本日付けで認定を行いました。（（株）技工社については、中国地方整備局長と連名による認定となります。）

今回の認定により管内の認定件数は合計36件となりました。

（今回認定した新連携計画）

コア企業名	事業テーマ
(株)技工社 (鳥取県鳥取市)	道路標示の作図を自動化する路面描画装置（商品名：ヒューナビ）の事業化
(株)ミスモ加工 (岡山県倉敷市)	LED光源とレーザー加工導光板を用いた大型面発光製品の製造・販売

今回認定した新連携計画は、中国地域活性化支援事務局（中小企業基盤整備機構中国支部）が計画策定を支援してきたものであり、今後は事業化までの継続的な支援を実施します。

- ・「新連携」とは、「複数の事業者が異なる事業分野で蓄積したノウハウ・技術等の経営資源を持ち寄り、それらを相互補完的に組み合わせることで初めて可能となる事業活動を行うことで、新たな需要の開拓を行う企業グループ」のことです。国としては異分野連携により新事業創出が促進されるものと考えています。
- ・認定された新連携計画は、連携する中小企業者等が創意工夫のもと、それぞれの強みを組み合わせて、新事業の創出並びに新市場の拡大が大きく期待されるものです。
- ・本事業の活用により、地域の中小企業等がそれぞれの強みを持ち寄った新事業を積極的に展開するとともに、これと相俟って産業クラスターの形成や産学官連携等、地域経済の活性化が促進されることを期待しています。

新連携計画の内容

テーマ名	道路標示の作図を自動化する路面描画装置（商品名：ヒューナビ）の事業化
コア企業名	(株)技工社（鳥取県鳥取市）

【市場の状況】

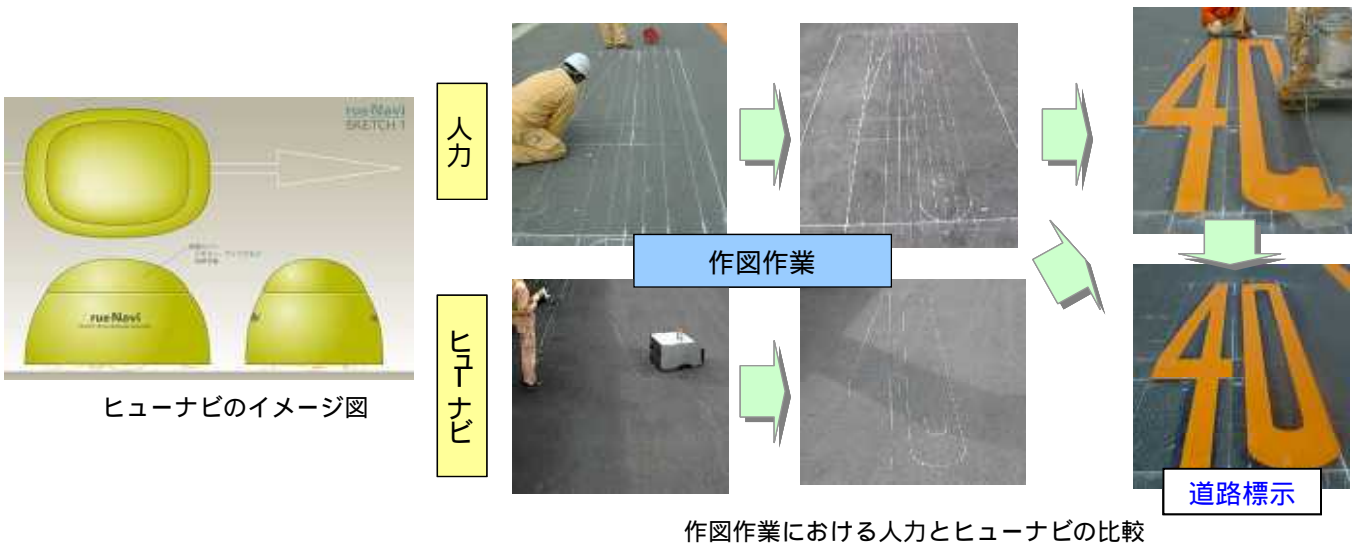
道路標示工事は公共事業が中心であり、受注額の伸びが期待できない中、そのほとんどが中小企業である施工業者にとって収益改善は喫緊の課題である。
 中でも工事の施工工程の約50%を占める「作図」作業は、熟練技術が必要な上に危険な作業であり、コスト高と後継者難という課題を抱えている。
 コア企業である(株)技工社は、道路標示工事を施工していく中で、同業者も同じ課題を抱えていることを知り、上記課題を解決できる装置の開発を発想したものである。

【連携事業の特徴・事業化の見通し】

本事業は、道路標示の作図を自動化する路面描画装置の製造・販売を行うものである。開発した路面描画装置は、標準的な道路標示の図面を電子データで取り込むことで自動で作図を行うことができる装置であり、一般作業員でも簡単に扱えるため、施工工程の短縮化による収益改善、及び後継者難への対応が可能である。
 開発に際し、コア企業である(株)技工社には機械を開発する技術が不足していたため、(財)鳥取県産業振興機構からアクト(株)の紹介を受け、連携して開発を行った。
 販売は、ニッポリース(株)が担当する。ニッポリース(株)は道路工事業の国内最大手企業の子会社であり、同社の全国各地の営業所を通じて道路標示施工会社や一般土木工事会社等への販路拡大を進める。

【連携体の構成】

- ・(株)技工社（鳥取県鳥取市）：全体統括、特許技術、製品企画・開発・試作実験、販売企画
- ・アクト(株)（鳥取県八頭郡）：設計・開発（電子回路、プリント基板等）、試作、製造
- ・ニッポリース(株)（東京都新宿区）：広告宣伝、マーケティング、販売、顧客対応



作図作業における人力とヒューナビの比較

コア企業	(株)技工社 代表取締役 今西 正一	
所在地	鳥取県鳥取市湖山町東5 - 274	
設立	1989年11月	
資本金・従業員数	30,000千円	20人
TEL・FAX	0857-28-2303	0857-28-2606
e-mail	togikou@poppy.ocn.ne.jp	
URL	http://www.gikousya.com	

新連携計画の内容

テーマ名 LED光源とレーザー加工導光板を用いた大型面発光製品の製造・販売
 コア企業名 (株)ミスモ加工(岡山県倉敷市)

【市場の状況】

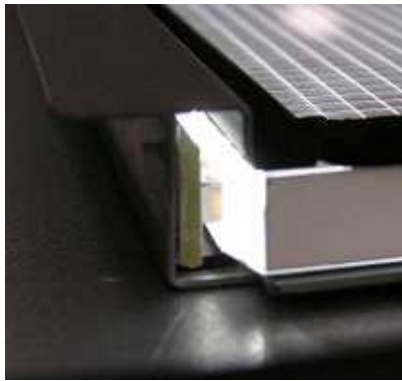
広告用の看板や表示灯については蛍光灯方式が普及しているが、蛍光灯の寿命が8000時間程度で年1回程度の取替えが必要なことや、電力消費量の削減が困難であることなどの弱点がある。国際的に環境に配慮した製品やサービスへの取り組み意識が高まる中、多くの企業が環境負荷低減と経費節減に取り組む姿勢を明確にしており、蛍光灯方式に代わる新しい方式が求められている。

【連携事業の特徴・事業化の見通し】

導光板は側面から入れた光を拡散させ、表面を均一に光らせるためのものであるが、本事業では、導光板加工において高い精度・品質を実現するためにレーザー加工を行い、LED光源とレーザー加工導光板を組み合わせた大型面発光製品の製造・販売を行うものである。コア企業である(株)ミスモ加工は、三洋工業(株)と共同でレーザー加工機及び加工ソフトを開発した。本システムは、1.3×3.0mの大型サイズから小さなサイズまで様々なサイズの導光板に対応でき、1枚でも低コストで加工、製品化できる特徴がある。大型面発光製品は使用現場の状況に応じた設計と組み付けが重要であり、(株)共伸電器の持つ豊富な照明器具加工知識をこの事業の技術充実に役立てる。また同時に、同社が有する照明器具の販路を活用した販売拡大の役割も担う。

【連携体の構成】

- ・(株)ミスモ加工(岡山県倉敷市)：全体統括、製品企画・開発・製造、販売
- ・三洋工業(株)(兵庫県尼崎市)：レーザー加工機の製造
- ・(株)共伸電器(大阪府東大阪市)：販売、筐体製造加工、電源・光源取付け及び組立て



エッジライト光源としてのLEDの装着



導光板方式による設置事例

コア企業	(株)ミスモ加工 代表取締役 宮田 丈夫	
所在地	岡山県倉敷市玉島長尾344-1	
設立	1992年12月	
資本金・従業員数	42,200千円	49人
TEL・FAX	086-525-0133	086-525-0137
e-mail	matuura@mismo.co.jp info@mismo.co.jp	
URL	http://www.mismo.co.jp/	